

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	教育委員会事務局歴史遺産課
-------	---------------

施設名称	奥州市埋蔵文化財調査センター	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般財団法人奥州市文化振興財団	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	埋蔵文化財を調査研究し、その資料の保管及び公開を行うことにより、市民の教育、学術及び文化の向上に寄与することを目的とする。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金
施設概要	研修室・収蔵庫・保管室・研究室・展示室・整理室等		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市埋蔵文化財調査センター観覧者等		8,133	10,568	11,022	9,138	
							2
	(計)	8,133	10,568	11,022	9,138	82.9	
〔利用者の増減理由〕							
①あやめ祭り入場者の減（平成29年度比1,655人減）開催時期が周辺の催物と重なった。							
②団体入館者の減（平成29年度比52人減）団体数は3件増であったが、人数は減少した。							
③お盆期間中の個人入館者減（平成29年度比45人減）8月11日～15日の入館者（平成29年度84名、平成30年度39名）							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	35,221,000		35,221,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	297,000		297,000		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		286,950	286,950		その他		その他		
	雑収入		130,743	130,743						
	計	35,518,000	417,693	35,935,693		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	23,008,747	180,217	23,188,964	※経常的 歳出	指定管理料	35,221,000	人件費	8,689,602
		需用費	3,629,874	2,062,425	5,692,299		委託料		委託料	10,389,000
		役務費	311,503	51,642	363,145		需用費		需用費	25,070,466
		委託料	4,752,144	230,666	4,982,810		その他		その他	
		使用料・賃借料	1,002,363	20,600	1,022,963		計(B)	35,221,000	計(B)	44,149,068
租税公課		1,930,897		1,930,897	支出(B-A)	35,221,000	支出(B-A)	44,149,068		
その他諸費		1,181,450	6,000	1,187,450	※臨時的 歳出	維持修繕費	1,112,400	維持修繕費	1,791,300	
						備品購入費	204,120	備品購入費		
計	35,816,978	2,551,550	38,368,528	委託料		1,555,200				
損益	△ 298,978	△ 2,133,857	△ 2,432,835	計(C)	2,871,720	計(C)	1,791,300			
				支出(B+C-A)	38,092,720	支出(B+C-A)	45,940,368			

職員配置	常勤職員	2人	市の正職員	1人
	臨時・非常勤職員	4人	市の臨時・非常勤職員	人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	302,000	5,000	297,000

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	64.2%	H30年度指定管理者損益	△ 2,432,835円	評価
-----------	--------------------	-------	--------------	--------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	3,854.3円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	2
----------------	------------	----------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 8,928,068円			評価
	指定管理見直しに際し、経年劣化による少額施設修繕を見込み増額するなど指定管理料が若干増額となっている。	〔行革効果額の積算根拠〕			
			H30	H29	比較
		直営支出額	44,149,068	44,149,068	0
		市支出額	35,221,000	34,729,000	492,000
効果額	8,928,068	9,420,068	△ 492,000		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの維持管理 ・観覧者の案内説明 	○		4
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・鎮守府探訪講座2018（5回） ・体験学習会（5回） ・長編アニメーション「アテルイ」上映会 ・出前体験隊（随時） ・遺跡現地説明会（随時） ・遺跡発掘調査報告会 	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	必要な修繕が行われ、適切に維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により、適切に行われていた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	概ね適正であったと認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設所有（管理）者賠償責任保険、レクリエーション保険加入を確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	概ね適正な管理であったと認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	概ね適正な管理であったと認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	所報、新聞、ホームページを活用して周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルはなく、親切、丁寧な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し迅速な対応が取られたことを認めた。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に自主事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を2回実施したことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	・事業内容の感想調査 ・展示内容、職員の対応についての満足度調査 (年間を通じてアンケート用紙を設置し、任意で記入してもらった)	
		調査結果	・次年度事業への取り組みに反映させた。 ・利用者からの感想を的確に捉え、サービス向上につなげている。	
	要望・苦情等	良好とする評価	・説明が分かりやすかった。クイズも面白かった。 ・大変よく整理された資料を見やすく展示されていた。 ・とても楽しく学べました。	
		苦情・改善要望等	・映像がやや古いかなと感じた。 ・広範囲な水沢の資料があるとよい。 ・アクセスが不便、駅に案内もない。改善を希望する。	
				4

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	2	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2	
2 経費等の状況 (行革効果)	5	
3 事業の実施状況	4	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	4	
評価理由	・指定管理者として、善良かつ適切な施設管理を実施するとともに、観覧者に対し、懇切丁寧な対応を行っており来館者から好評である ・自主事業を積極的に行い、市の歴史文化等に係る知識の習得と、情報発信に寄与していると考えられる。 ・胆沢城跡を起点とした地域づくりの中心となる奥州市埋蔵文化財調査センターとして、住民の期待に応えるよう取り組んでいる。	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	こどもが歴史に興味を持つきっかけになる体験・出前のメニューの幅を広げる取組みの実施。	事業計画（主催事業、受託事業、発掘調査、整理作業）どおり全ての事業を実施した。	埋蔵文化財調査センターの更なるPRの実施。昨年度から準備をしている、特別企画展を開館25周年記念事業として鎮守府胆沢城の魅力を発信する。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	教育委員会事務局歴史遺産課
-------	---------------

施設名称	衣川歴史ふれあい館	施設所在地	衣川地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市観光物産協会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日から令和2年3月31日（1年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	郷土の歴史、民俗等に関する資料を保護活用し、郷土意識の高揚及び文化振興を図る。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	展示室・資料室・研修室・収蔵庫等		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	衣川歴史ふれあい館施設利用者数		2,247	2,390	2,808	3,462	
							5
	(計)	2,247	2,390	2,808	3,462	123.3	
〔利用者の増減理由〕 地域内の他団体とも連携するなど自主事業（歴史講談、漆塗体験講座等）に積極的に取り組み、施設利用者数の増加したものと考えられる。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(21年度)			
収入	指定管理料	3,874,000		3,874,000	歳入	使用料		使用料	172,050	
	利用料金	282,200		282,200		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		631,810	631,810		その他		その他		
	雑収入	6		6						
	計	4,156,206	631,810	4,788,016		計(A)	0	計(A)	172,050	
	支出	人件費	2,400,000		2,400,000	歳出 ※経常的	指定管理料	3,874,000	人件費	2,370,672
		需用費	1,039,810		1,039,810		委託料		委託料	475,443
		役務費	129,657		129,657		需用費		需用費	774,375
		委託料	212,490		212,490		その他	215,000	その他	441,466
		使用料・賃借料	126,394		126,394		計(B)	4,089,000	計(B)	4,061,956
租税公課		286,962		286,962	支出(B-A)		4,089,000	支出(B-A)	3,889,906	
その他諸費			572,500	572,500	歳出 ※臨時的	維持修繕費	129,913	維持修繕費	84,000	
計		4,195,313	572,500	4,767,813		備品購入費		備品購入費	48,300	
計	4,195,313	572,500	4,767,813	計(C)	129,913	計(C)	132,300			
損益	△ 39,107	59,310	20,203	支出(B+C-A)	4,218,913	支出(B+C-A)	4,022,206			
職員配置	常勤職員	2人		市の正職員	(兼) 1人					
	臨時・非常勤職員	1人		市の臨時・非常勤職員	非常勤3人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	282,200	0	282,200							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		57.2%		H30年度指定管理者損益	20,203円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		1,119.0円		事業目的に適合しない支出等の有無		なし		3	
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				△ 199,094円	評価
	・直営当時(H21年度)は正職員(兼任)1名と非常勤職員3名を配置していたが、本制度の導入により兼務職員をなくすことができた。 ・公共料金の値上げにより導入以前に比して効果が減じたと考えられる。				〔行革効果額の積算根拠〕					2
						H30	H29	比較		
					直営支出額	3,889,906	3,889,906		0	
					市支出額	4,089,000	4,089,000		0	
効果額					△ 199,094	△ 199,094		0		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・衣川歴史ふれあい館の維持管理 ・来館者の説明案内	○		3
自主事業	・衣川清凜会との連携により歴史講談を開設した。 ・ヨガ教室や漆塗りなどの体験講座を自主的に開設した。	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に市報告が行われ、維持管理が図られていた。	○	2	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員により適切に行われていることを確認した。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	概ね適正であったと認められる。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	自主事業は歴史出前講座、ヨガ教室、うるし体験教室であるが賠償責任保険をかけていない旨の報告を受けた。	これらに適應する賠償保険が見当たらないとのこと。		×
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	概ね適正であったと認められる。	○		
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	概ね適正であったと認められる。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	市観光物産協会の情報誌、新聞等を活用して周知を図ったことを認めた。	○		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルはなく、正確で確実な対応を確認した。	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し迅速な対応が取られたことを認めた。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に自主事業を実施していた。	○		
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○		
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○		
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	○		
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練と講習会を2回実施したことを確認した。	○		

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	来館者の接客時に聞き取り、日報に記載。（但し、イベントの時は不問。） ①どこから来訪したのか。 ②来訪の目的、安倍氏の歴史に興味があるか。 ③何で当館を知ったのか。	
	調査結果	来館者の半数が地元も含めて岩手県内在住者60代以上 県外からは、関東圏を中心に30代から70代までの旅行者が多い 安倍氏の歴史に興味がある人の来館が多い。		
	要望・苦情等	良好とする評価 来館者全員に開設案内を試みている。 前九年合戦、後三年合戦、平泉四代の歴史がわかりやすいと評価を得ている。		
		苦情・改善要望等	苦情を寄せられることは無いが、期待はずれで帰る人はいると思われる。 歴史に興味がない人が入館した場合。歴史に興味があるが展示物に物足りなさを感じた場合。これらの入館者は5分程度で帰ってしまう。	

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	5	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	2	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	2	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、人件費や物件費が抑制され、一定の行革効果があった。 ・施設の特性を生かした自主事業（歴史講談、漆塗体験講座等）を積極的に行い、市の歴史等に係る知識習得に有効であった。 ・概ね指定管理者として、善良な施設管理を行い、観覧者に対しても親切で丁寧な対応を行った。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	-	-	30年度は消費税282千円の拠出のため施設の損益が赤字となったので、経費の削減を図る。